



# 集落支援だより

皆さんこんにちは！  
 地域おこし協力隊の渡辺です。  
 今月の集落支援だよりでは、町の高齢化率の状況と奥川七観音ウォークの様子についてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当  
 わたなべ たかひろ  
 渡辺 貴洋 隊員

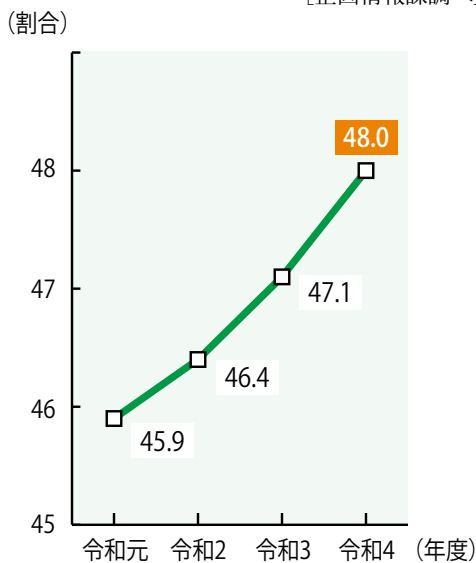
## 西会津町の高齢化率

西会津町は、全人口に占める65歳以上の人の割合である「高齢化率」が県内で4番目に高い町となっています。

集落支援業務では、自治区の現状などを把握するために、毎年、町全体や自治区ごとの高齢化率を算出しています。本年度の町の高齢化率は、48・0割と昨年度より0・9割高くなっています。私が地域おこし協力隊に着任した4年前と比較すると、約2割高くなっており、年々増加傾向にあります。

グラフ 町の高齢化率の推移

[企画情報課調べ]



※令和元～3年度は4月1日時点、令和4年度は6月1日時点の数値。

し、4年前に約6300人いた人口も本年度は5800人を下回っています。これは、1年あたり約200人ずつ減少している計算になります。

そうした人口減少や高齢化が進む中でも、自分たちでできることから集落の元気づくりにつなげていこうとする集落も増えていきます。集落活動の維持のため、大学生をはじめとした町外の若者との交流活動もその1つです。交流を楽しみながら、活動の担い手を集め、集落の負担の軽減につながるよう、引き続き支援していきたいと考えています。

## 奥川七観音ウォークを開催

6月5日、奥川地区の御詠歌が残る7つの観音堂を巡る「奥川七観音ウォーク」が今年も開催されました。

今年は、3年ぶりに参加者の制限をかけずに実施され、町内に限らず、新潟県や会津坂下町など近隣各地から10人が参加しました。

当日は、奥川みらい交流館を出発し、道目、下松、向原、中ノ沢、松峯、小山の林道を通り、真ヶ沢、中町の順番で奥川地区を周遊しました。汗ばむ陽気の中、参加者の



下松観音堂での様子

皆さんは、各観音堂の説明や奥川地区についての話を聞いたり、それに対して質問をしたりしながら12歳以上の道のりを歩きました。普段は車などの乗り物で移動することが多いためか、ゆっくりと自分のペースで歩くことに新鮮さを感じている様子でした。

また、参加者の皆さんには、観音堂ごとに七観音ウォークオリジナルの御朱印帳が配られました。このイベントでしか手に入らない特別な御朱印を集めた充実感や、長い道のりを歩いた達成感や味わいながら奥川地区の歴史や景色を堪能しました。



石段を登る参加者の皆さん